

中埜総合印刷株式会社

自然の生息空間や生態系を保全するためのビオトープ

美しい自然とのふれあいを次世代にもつなげるため、ビオトープ雑木林を、所有・管理しています。

✿取材レポート✎

中埜総合印刷(株)のビオトープは、「大人も子どもも自然と触れ合える場を提供したい」という想いから2001年に開園し、季節によって地域の方々が自然とふれあうことのできる場所を提供しています。ビオトープには、60種類以上の植物があり、野鳥や昆虫が生息し、小さな生態系を形作り、季節の移り変わりを観察することができます。

キツツキやウグイスなど街中では珍しい野鳥や、カブトムシ、クワガタなどの昆虫が見られることもあるそうです。「持ち込まず、持ち出さず」という理念のもと、剪定した木枝は、粉碎してビオトープ内に返すなど、ビオトープの内で循環させることに重要な意味があることを、今回のインタビューを通して学ぶことができました。

この取組を知ったことをきっかけとして、自然や生態系保全や循環社会についても考えていきたいと思います。



▲ビオトープイメージ写真



▲取材の様子

半田市SDGs宣言団体 募集中!

市ではSDGsの達成に向けた取組の強化・拡大を図るため、「半田市SDGs宣言制度」を設けています。SDGsに関心のある企業や団体の皆さま、すでに取組を始めている団体はもちろん、関心はあるけど何から始めようか迷われている団体も応募可能です。

◆宣言団体の主なメリット

- ①半田市の協力・PRを得ながらSDGsの取組を推進できる!
- ②市民や市内在勤在学の方等へ「半田市SDGs宣言団体」としてPRできる!
- ③宣言者相互間の交流が得られる!
- ④構成団体による教育等の支援を受けられる!

97団体が登録中!!
(8月末時点)



▲宣言団体一覧・応募方法